

# 防災 特集

No.51 (2005年9月9日発行)で防災特集を組んで3年が経ちました。

その後、日本では◎2007年3月25日能登半島地震 (M6.9) ◎2007年7月16日新潟県中越沖地震 (M6.8) ◎2008年6月14日岩手・宮城内陸地震 (M7.2) ◎2008年7月24日岩手県沿岸北部地震 (M6.8)

隣の国・中国でも2008年5月12日に中国南西部の四川省でM7.8の地震が発生しました。

被災直後の支援・復旧そして経過後の復興には公的機関はもとより民間の支援

団体や個人の動きがあり、メディアを通して生の姿を見聞きしてきました。

何時起きても不思議ではない東京首都圏・その他で予想される大地震発生に対し、国や地方自治体・関係機関・市民団体等が各方面で地震対策を講じています。

今号では、ボランティア日本語教室での活動に防災対策を取り入れている「小平日本語の会」と中国・成都市で大地震に直接遭遇した日本語ボランティア・関口さんの記事を紹介しします。

## 「地震・災害」の学習

### 「小平日本語ボランティアの会」の取り組みから

小平日本語ボランティアの会 (小平市) 代表 **福井 芳野**

地震大国といわれる日本では、テレビ画面に地震速報が流れるのが日常なことになっています。その中には勿論、大規模な地震が起きているのはご存知の通りです。

当会では、日本語の指導の他に、日本国内や地域のこと、市報等載っていることなど様々な情報を常々学習者に伝えています。また、学習者の日本での生活が安全であることを願い、防犯・防災に関することも重要と考え、学習の一環として都や警察、交番などからの情報や資料を基に度々伝えています。前回地震に関する指導をしてからほぼ半年が過ぎたので、次週の学習として又行な

おうと準備を進めていたところ、5月12日に中国四川省で大地震が起きました。地震・防災の指導時に使用した資料は次の通りです。

- ①「小平市防災マップ」  
(小平市市民生活部防災安全課作成)  
市内にある避難所なども記載されている。
- ②「消防119」(東京消防庁作成) (\*1)  
その内地震に関するページを使用。イラストと多国語訳付きで分かりやすい。
- ③「あ!地震 その時あなたは」  
(八都県市首脳会議作成)  
日ごろの備え、帰宅支援ステーション、

災害伝言ダイヤルの使用方法など。

#### ④特別報道写真集「新潟中越地震」

(2004年新潟日報社発行)

掲載されている写真が、まさに数日前に起きた中国での地震の情景と同様のものが数多くあったため、学習者は地震の恐怖を身近に感じたようです。

#### ⑤地震や災害を報道した新聞や雑誌、写真など

#### ⑥「地震から身を守るために」(東京都生活文化局発行 (多言語訳付き) (\*2)

学習方法は、各学習者の担当者が上記の物を使い、母国での災害時のことや日



本での地震の体験談などを話してもらいながら、地震や災害時の様々な対応の仕方を説明し、会話を発展させたものになりました。資料①②③⑥は各自持ち帰ってもらい、また後日、新宿区が作成した各国語で書かれた⑦「セーフティカード」を、災害時に必要な緊急用語を日本語で未だ上手く伝えられない学習者に渡しました。(⑦のような物を各自治体で作るのは難しいので、③のように八都府市首脳会議などで作っていただ

けるとありがたいと思います。) 学習者には、地震や災害に関する知識を持つことは大切であるが、それ以上に、非常時にも周りの人とコミュニケー

ションが取れるよう日本語の勉強に励むよう伝え、またスタッフとは、災害時には必要に応じて学習者の安否確認をしようと申し合わせています。

- ◆参照：ホームページ・アドレス .....
- (\*1) <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/eng/119/index.html>  
(英語・中国語・ハングル語・タイ語・フィリピン語)
  - (\*2) ・地震とは<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/hyoushi.pdf>  
・地震発生そのとき<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/zisin.pdf>  
・災害時によく使われることば・東京地下鉄路線図  
<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/renrakusaki.pdf>



## 中国四川大地震に遭遇して

早稲田奉仕園日本語ボランティアの会（新宿区） 関口 トシ子

2008年5月12日午後2時28分。その時私は、中国四川省の成都にいました。

5月10日、私達一行は、成都市パンダ繁殖基地で、日中緑化基金のボランティアとして竹の植林と式典を終え、11日は、成都市郊外の世界最古の水利工場の遺産である都江堰の見学をしました。12日の午後、市内見学に出かけようと、ホテルの前に停まっていたバスに全員が乗り込んだその時です。ホテルの中から大勢の人達が血相を変えて飛び出してきました。何かと思った瞬間バスがぐらぐらと揺れ、地震だと言うことが分かりました。ホテルの前や大通りは人であふれ、裸足で歩いている人や、病院の前などでは、入院中の患者が看護士に付き添われて担架で出ていました。

余震もあり、電気、ガスも止まって

いるため、夕食は外で、菓子パンと果物だろうそくの明かりで済ませました。夜遅くに電気がつき、部屋に戻ってみると、廊下の天井や壁などが数カ所はがれ落ち、部屋では備え付けの机の引き出しが飛び出していました。バスの中ではさほどに感じませんでしたが、ここ成都でもかなりの揺れだったことが分かりました。隣のホテルでは倒壊の危険があるとのことで宿泊客はみな別のホテルに移りました。テレビのニュースを見て、私達が前日訪れた都江堰は、震源地に近く、見学したほとんどの所が倒壊してしまったことを知りました。

翌13日午前中、帰国のため空港へ行きましたがロビーは大混乱、いつ飛行機が飛ぶかアナウンスも全くないまま午後4時頃まで待たされたあげくキャンセル。その間余震が来る度に職員は一斉

に外に飛び出して、カウンターには誰もいなくなるという状態でした。

次の日も飛行機に乗れず、結局、帰国予定日を3日過ぎての帰国となりました。

その頃日本では、私の消息がわからず皆とても心配していて、私が日本語を教えている中国の留学生のYさんは、連絡方法をいろいろ調べた結果、重慶の日本領事館へ電話をかけて私達の無事を確認し、ボランティアの仲間にも知らせてくれていました。帰国後再会した時は涙して喜んでくれ、私もやっと無事だった現実を実感し、Yさん達の心遣いに胸が熱くなりました。私は幸運にも無事でしたが、この地震での被害はあまりにも大きく、何万という人、特に多くの子供達が命を落としていることを思うと心が痛みます。

外国人として異国の地で思わぬ状態に置かれた私たちに、現地ではいろいろな人が力になってくれました。地震は初めてということで自分も怖かったと思いますが、ホテルの若い従業員達は、仕事とはいえ駆け回って椅子を並べて私達を座らせてくれたり、避難してきた近所の人達に無料で毛布を貸したり、食事を出したりしていました。私達のプロジェクトの担当の方は、避難している娘さんにその日にもお孫さんが生まれるかも知れないと言うのに帰宅もせず、私たちが帰国するまでずっと世話をしてくれました。空港では、台湾の旅行グループの人達が、自分達がやっと手に入れた貴重なパンや水を、惜しげもなく私達に分けてくれたことなど、まだ筆に尽かせないことはたくさんありました。

「木を見て森を見ず」というたとえがありますが、国際交流とは、「木を見てこそ森が見える」と言う視点に立って、言葉や文化の違いを越えた個々の

関わりを大切にすることから大きな一歩が始まるのだと言うことを実感した次第です。

また、この地震体験で、まず思い起こしたのは、中国人留学生のRさんのことです。Rさんは4年前の新潟中越大地震に遭遇して、自分のアパートも半壊し、同級の留学生が、ほとんど帰国した中、「私は北京に家があるけれど、長岡には住むところを失った友達がたくさんいる」と言って帰国せず、ボランティアとして救援活動を続けたのです。私は一介の旅行者として現地の人達に助けをもらうばかりで、なにもできませんでした……。災害に関しては、以前韓国人の日本語学習者で、隣のマンションで火事があり、何も持たずに逃げてとても不安だったと言う人がいま



した。また、先頃の東北の大地震では仙台にいる留学生から「びっくりしたけれど、日本人に聞いて非常持ち出しも用意してあったので、大丈夫」と言うメールが来ました。日本語ボランティア教室でも、日本にいる外国の人達が不安なく過ごせるように、防災の心構えや、対処の仕方など、折に触れてアドバイスをしたり、最低限の項目はカリキュラムに組み込んで、支援をしていくべきだということも改めて思いました。

## 下記のHPを参考にして学習の場で話し合ってみてはどうでしょうか。

### ●東京都消防庁HP

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/index.html>

◎地震に備えて

[http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou\\_topic/jisin/life00.html](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/life00.html)

(日本語・英語)

◎地震 その時10のポイント

[http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou\\_topic/jisin/point10.htm](http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/bou_topic/jisin/point10.htm)

◎地震に対する10の備え

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/index.html>

◎東京消防庁<災害情報>

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/saigai/index.html>

(英語・中国語・ハングル語・タイ語・フィリピン語)

◎消防119

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/eng/119/index.html>

(英語・中国語・ハングル語・タイ語・フィリピン語)

◎地震に対する10の備え

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/eng/119/119-05.html>

### ●東京都生活文化スポーツ局

◎地域国際化の推進 外国人向け防災リーフレット

「地震だ！ その時あなたはどうしますか？」

(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語併記)

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/bousai.pdf>

◎いざというときのための「サバイバル・マニュアル」

(日本語・英語併記)

<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/survival-manual.pdf>

### ●東京都国際交流委員会HP

<http://www.tokyo-icc.jp/>

◎外国人のための生活ガイド「リビングインフォメーション」

<http://www.tokyo-icc.jp/guide/index.html>

・転ばぬ先の智慧

・緊急災害時の対応



# 韓国敬語事情

グッドナイト日本語（江東区） 丸山 千枝

韓国語は、話題の人物の地位や年齢が自分より上か下かだけで敬語を使うかどうか決めます…絶対敬語。

では、「こんな場合はどうか？」レッスンの一環として、学習者に具体的に尋ねてみました。

## 1 自分より年下の上司には？

尊敬語を使います。地位は権力を表わしますから、一般的に内外（うち・そと）を問わず上下関係は敬語で表現します。これは、今も昔もあまり変化していません。ただ年下の上司の中には、仕事を離れた場所では、年長者に敬語を使う人もいますようです。

## 2 妻が年上の場合、夫は尊敬語で話しますか？

年上の妻には尊敬語を使うべきですが、最近、妻が自分のほうが年上だと思われたくないということもあり、お互いにつめ口で話すようです。今韓国では、若いカップルや夫婦は平等という認識が広がり、つめ口が増えてきています。そして子供が生まれると自然にお互い敬語を使うようになるようです。これは、子どもに敬語を教えるためという意味もあります。

## 3 子どもは、両親、祖父母、叔父・叔母には、尊敬語？

ちょっと前までは、厳しい父親には敬語、優しい母親とはつめ口でしたが、近頃は父親にもつめ口を使う家庭が増えてきました。しかし、大きくなって軍隊に入ったり社会人になったり結婚すると、両親にも自然に敬語を使うようになります。

「ごめんね」が「申しわけありません」というふう

に。

祖父母や親戚の年長者には、敬語を使います。

## 4 例えば社長の子どもであっても、子どもには使わない？

上司には敬語を使います。しかし、その子どもに「坊ちゃん、ケーキを召しあがりますか？」

なんて言うことは、ありません。

## 5 外の人に対して目上の人の事を話す時は敬語だとすると、

「部長は、外出しております」は、なんて言うの？

「部長さまは、外出なさっていらっしゃいます」

自分の家族のことを話す時は？

例 「お母さんは、美容院へいらっしゃいました」

## 6 その他

——幼い時、敬語を使えるようになって褒められたけれど、大人になると、「早く、敬語を使われるような人になって」と言われた。（敬語の存在が、韓国社会でいかに重要かを伺わせる）

——しかし20代に聞くと、「早く敬語を使われるような人になって」と親から言われた人は少ない。また、家庭内で敬語がゆるくなっていることもあり、変な敬語を話す若者が増えているという。

——敬語は、相手を尊重するように見えるが、同時に言うほうも言われる方もちょっと距離感を感じる。そしてそれは日本語でも……と言う意見もあった。

余談：「『つめ口』は『駄目口・だめぐち』だと思っていました」とは、韓国学習者の声です。



丸山さん画面右から三人目（学習者と深川不動尊で）

# 突然ゼロレベルの学習者が来たら

## —ひとつの方法—

ビバ日本語の会新橋（港区） 林川 玲子

### ●対象●

日本へ来たばかりで、ひらがなに抵抗を感じる学習者（ひらがなに抵抗がない場合はローマ字の代わりにひらがなを使用しても良い。）

### ●使うもの●

名札、用語表、ローマ字五十音表（ローマ字表記は駅名と同じもの）、ちらし、ジェスチャー、笑顔、学習者の推理力、学習者の関心のある分野の単語

### ●心がけること●

急がないで、楽しく、覚えることは最少にして、「今日のおみやげ」をあげる。

### ●手順●

始める前に

- ①立って軽くお辞儀をしながら、「こんにちは」
- ②名札を示しながら、「もり です」「どうぞよろしく」
- ③学習者が察して、名前を告げたら、
- ④「ペーターさん こんにちは。もりです。どうぞよろしく。」
- ⑤学習者が、「もりさん こんにちは」

と続けたら、成功！

- ⑥なお、この段階では、学習者があまり反応しなくてもかまわない。

### ●第一段階●

- ①ジェスチャーか絵で意味を示しながら、用語表の上から4つの用語を順に指し示しながら発音する。（図参照）
- ②次に「見てください」と言って、Mitekudasaiを指す。
- ③Kiitekudasaiを指しながら発音して、「見てください」と言う。
- ④Ittekudasaiを指しながら言って、学習者に「どうぞ」と促す。学習者が「見てください」と言ったら通じたことが判明！（学習者が理解できなかったら、もう一度初めから繰り返す。）
- ⑤さらにMo ichidoを指しながら言って、学習者を促す。学習者が再度「見てください」と言ったら、学習者が理解できたことがわかる。
- ⑥この手順で、Kiitekudasai、Ittekudasai、Mo ichidoを言うのも行う。
- ⑦さらに、学習者用に用意された

Yukkuri onegaishimasu と Wakarimasenを発音させる。

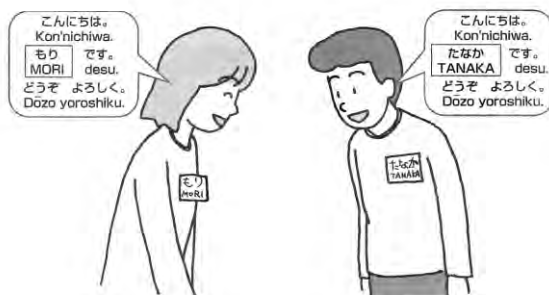
### ●第二段階●

- ①4つの用語を使って、同じ手順で、ローマ字五十音表を「A I U E O」から「W a I U E O」「N」まで発音させる。日本語のリズムをくずさないため「やいゆえよ」「わいうえを（O）」とする。
- ②続いて、濁音「Ga Gi Gu Ge Go」拗音「Kya Kyu Kyo」なども発音する。
- ③ローマ字を一通り発音してから、ローマ字の一音がそのまま、またはローマ字をつなげると単語になることを示す。（Te→手、Me→目、Hana→鼻、Megane→眼鏡など）

### ●第三段階●

- ①身近にある実物、絵、写真（ちらしなど）で物を示し、ローマ字で書いて読んでもらう。（学習者の関心のある言葉、または役に立つ言葉を取り上げると良い。）
- ②駅名（身近な路線の）をローマ字で示し発音する。（ローマ字表記の路線図があれば利用）
- ③今日のおみやげ…ローマ字の読み方と日本語の音。

| ひらがな            | ローマ字                     | 英語                     | ハングル         | 中国語   |
|-----------------|--------------------------|------------------------|--------------|-------|
| みてください          | Mitekudasai              | Look                   | 보아 주십시오      | 请看    |
| きいてください         | Kiitekudasai             | Listen                 | 들어 주십시오      | 请听    |
| いってください         | Ittekudasai              | Say                    | 말해 주십시오      | 请说    |
| もう いちど          | Mō ichido                | Once more              | 다시 한번        | 请再来一遍 |
| ゆっくり<br>おねがいします | Yukkuri<br>onegaishimasu | Slowly please          | 천천히<br>부탁합니다 | 请慢一点  |
| わかりません          | Wakarimasen              | I don't<br>understand. | 모르겠습니다       | 不明白   |



出典：「はじめましょう1・2・3」 林川玲子著

nice to meet you

気軽に、カフェでお茶を楽しむように日本語を

# NPO Hope Scoop Asia にほんご学習カフェ

代表 工藤 いき (福生市)



JR青梅線福生駅より徒歩3分、もともとフィリピンの孤児院運営支援を実施していたHope Scoop Asia事務局内に「にほんご学習カフェ」がオープンしたのは、2008年4月1日のことでした。せっかく拠点を日本国内にしているのだから、何か、日本の未来のためにできることはないか、との想いから始まった在住外国人支援事業のひとつとして、国籍や文化の違いを超えて、同じコミュニティに暮らす者同士が自然に交流できる居場

所を作ろうということになりました。「教室」ではなく、「カフェ」と名付けたのも、ボランティアの方や利用者の方が気軽に、いつでも立ち寄ることができるように、という願いから。

そんな願いを実現するために、私たちの「にほんご学習カフェ」は、原則として毎週月曜日から土曜日の朝10時から夜9時までオープン。昼間勤めている方も、夜勤の方も、どのような生活スタイルの方でも利用しやすいようにしています。

生活スタイルが様々なように、利用者の方々のニーズも千差万別。「今、利用者の方が一番必要としている日本語」を

学習テーマの中心に据え、積極的にアウトティング(教室外活動)を実施しています。たとえば来日して日の浅い方には、スーパーへ一緒に出向き、野菜や調味料の名前を覚えたり、日本特有の食材について説明したりしています。

その他、バーベキューパーティや、ボランティアの主婦の方のお力を借りた日本のお袋の味を作って食べる会、など。楽しみながら、ボランティアの日本人の方々と外国人の方々ととの交流を深めています。みなさんもぜひ、Hope Scoop Asiaにほんご学習カフェへ遊びにいらしてください!

## 会員団体紹介

# Nice to Meet You

はじめまして。弊社は日本橋駅から歩いて3分程にございます、人材サービス企業です。

人材紹介・人材派遣・求人媒体運営事業を中心に、求職者様と求人企業様とのよりよい出会いの創出に、日々尽力しております。

代表の川嶋は、中国に留学した経験もございますので、その経験を活かして、当社を設立してから日本人の求職者様以外にも、中国や外国の求職者様の転職・就職支援にも力を入れて参りました。

この度は、優秀な外国人の求職者様に対し、更なる活躍のフィールドをご提供していきたいとの思いから、都内中心に多くの日本語教室様とのネットワークを有しているTNVN様を微力ながらご支援させて頂くことになりました。

nice to meet you

Make Someone's Day「外国人求職者と企業の架け橋として」

# 株式会社インゲート

東京バイト (<http://www.tokyobaito.jp>)

取締役 後藤 智之

弊社の最近の取り組みとしましては、優秀な求職者様と企業様とのマッチング強化の一環として、本年7月より、留学生・外国人の方の利便性を高めたアルバイト・社員の求人情報サイト「東京バイト」をオープンいたしました。こちらは、お陰様で求職者様、企業様よりご好評頂いております。

少しご説明させていただきますと、日本語検定レベル、来日期間、留学生・外国人歓迎などの検索インデックスを設けており、特に外国人求職者様が求人情報へアクセスする利便性を高めております。また、「東京バイト」を通じて採用が決定した求職者様には、Amazon(r)ギフト券をもれなく贈呈しており、求職者の皆様から喜んで頂いております。

このように弊社では、企業メッセージ

で掲げております"Make Someone's Day"「あなたの日々を創っていきたい」をモットーに世の中に価値あるサービスを提供していく所存です。TNVN会員の皆様のお役にたてますよう、ご指導・ご鞭撻下さいますよう宜しくお願い致します。

【追記】「東京バイト」の販促ティッシュを只今無料で配布しております。生徒様にお配りしたい会員の皆様は、下記メールアドレスまたは電話番号までご連絡下さい。「東京バイト」([www.tokyobaito.jp](http://www.tokyobaito.jp))  
mail: [info@ingate.co.jp](mailto:info@ingate.co.jp)  
電話番号: 03-6913-5270





学習者の声

先生ありがとうございます

曹美芬／中国  
八王子国際友好クラブ（HIFC）（八王子市）

幼稚園へ行くようになり、毎週火曜日に梶本先生より日本語を教えてくださいました。先生は日本語以外にも日本の文化や習慣やマナーなども教えてくださいました。先生は人生経験が豊富であり、特に子育てについては相談にのって頂いています。国が違いますと子供の教育方法も違います。いろんな不安や驚きや悩みを先生に相談します。お蔭様で息子は元気いっぱい、のびのびと成長しています。私も様々な問題を乗り越えて成長しています。

いつかは着物をはおり素敵な笑顔で、上品な日本語を使って先生達の前で、御礼の言葉を話せる様努力します。これからも先生にお世話になります。どうぞ今後もよろしくお願

い申し上げます。先生、ありがとうございます。



私は中国出身ですが、日本人と結婚して、五年前に日本へ参りました。その時、日本語は話せませんでした。ストレスが溜まって、一時帰省をしました。だいぶ落ち着いて、再び日本へ戻ってきました。友達の紹介でHIFC日本語教室に入学しました。最初は高橋先生の教室に通い、その時、私は日本語がとても下手でしたが、高橋先生はいつも「曹さん上手ですね」と褒められ、よく皆の前で会話のチャンスを与えました。それから日本語の勉強が好きになりました。毎週の勉強時間がすごく楽しかったし、早く時間が過ぎました。そうしているうちに、子供が生まれました。子育てが忙しくて、勉強はなかなかできませんでした。今息子は

ボランティアの声

日本語教室担当 高橋陽子  
八王子国際友好クラブ（HIFC）（八王子市）

広がる交流の輪

数年前にTNVNに寄稿し、HIFC日本語教室を紹介しましたが、今回は新たな取り組みについてお話したいと思います。2007年度にHIFCの組織を見直し、日本語学習者にもHIFC会員になってもらうことにしました。今では日本語グループの他に、交流グループにも所属している学習者が大勢います。

従来通りの教室形式とマンツーマン形式の日本語クラスの外に、今年4月から、月2回水曜午後「日本語サロン」を開催しています。教室では日本語を勉強していても、日頃日本語を話す機会が少ない学習者達は、この時とばかりおしゃべりを楽しんでいます。おしゃべりの相手になっている日本人も、教室では見られなかった学習者の一面や、その国の文化・習慣を知って、驚いたり、感心したりしています。おしゃべりを通して、参

加者間の相互理解が深まっている感じがします。

できるだけ多くの日本人や外国人との交流の場、更に日本文化にも触れるチャンスを提供するため、交流グループが主催する書道や茶道クラス・クラブの行事への参加も積極的に呼びかけています。以前は、学習者の接する日本人は日本語教室内の日本人だけ、日本語を話す機会は教室内だけという人も多かったと思います。今は、その枠を越えて交流が広がってきています。

HIFCは、日本人も外国人も共に暮らせる豊かな街づくりを目指しています。外国人にとっては、日本語教室が日本社会への入り口です。教室での出会いをきっかけにして、ますます交流・相互理解が深まることを願っています。



### ■「出前講習会」実施報告

#### ①「日本語ボランティアの基礎研修会」

●実施日：4月10日

●会場：東京YWCA武蔵野センター

内容：“日本語ではなそう「いちごの部屋」”を開設するため募集したボランティアの研修。  
\*「いちごの部屋」は5月から活動を始めています。

#### ②「日本語ボランティア養成講座」

●実施日：5月13日から7月1日までの毎週火曜日

●会場：しんじゅく多文化共生プラザ

●内容：日本語ボランティア活動を始めた人等を対象に、ボランティア日本語教室での適切な学習者への対応方法など。

#### ③「日本語ボランティア勉強会」

●実施日：7月7日、9月8日

●会場：所沢インターナショナルファミリー（TIF）活動場所

●内容：TIF会員のための勉強会。新しく増えたメンバーの研修を兼ねて。

#### ④「夏期日本語ボランティア研修講座」

●実施日：8月6日、7日、8日、21日、25日

●会場：しんじゅく多文化共生プラザ

●内容：既に日本語ボランティア活動をしている人を対象に、日頃の活動での問題点を考える。1回だけ、または複数回の参加可能。  
(担当 林川)

### ■ニュースレターに掲載する記事をお待ちしています

今号は地震に関する記事の特集しました。地域で活動するボランティア日本語教室は平常時の活動を通し、日本語学習支援の中で地震・防災についての情報提供や防災訓練への参加などに取組んでいる教室も多いと思います。こうした活動の様子や活動に参加した学習者や支援者の感想・意見をお寄せ下さい。また地震発生時と地震後の対応に「ボランティア日本語教室及びボランティアは外国人に対してどんな事が出来るか」についてのご意見や取組みがありましたらお寄せ下さい。

### ■「ボランティア日本語教室ガイド 2008東京」をご活用下さい

「ガイド」をご希望の方は、頒布代金（1部700円）と送料を郵便局でお払込み下さい。

◎口座番号：00100-1-719259

◎加入者名

東京日本語ボランティア・ネットワーク  
なお、東京ボランティア・市民活動センター（TEL：03-3235-1171）でもご購入出来ます。

冊子小包料金：1部:290円、

2部・3部:340円、4部・5部:450円

## Column

### ◆同時進行・炎暑の夏

「ボランティア日本語教室」の活動状況をとりまとめ、皆様にニュースレターでお知らせしたのは3月でした。

さらに、日本語教室での児童・生徒の受け入れが半数以上に及んでいる状況をふまえ、支援活動の内容と情報の共有化をはかるアンケートの実施を「総会」でご確認をいただいたのが4月でした。

5月・6月は役員会、運営委員会でアンケート調査表の原案、成案づくりです。

7月に入り、小・中学校は夏休みです。……夏休み入りと同時に外国籍の中学1年生が母親に連れられて、教室にやってきました。日本にきたばかりだとのこと、日本語は全然わかりません。「あ・い・う・え・お」からの学習です。



学校が夏休み中ということもあり、教室の定休日（週1）以外にもさらに週1回、特別に支援することとしました。

児童・生徒の学習支援に若干の経験はあるものの……「かな文字」からのスタートは初めてです。

TNVNが開催した4回のワークショップや活動状況の意見を参考に、学習支援とアンケートの取組みの「同時進行」の炎暑の夏です。

(い)

TNVN東京日本語ボランティアネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通し、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

### 東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

◆日時：毎週金曜日

第1、第3、第5 金曜日／午後2時～4時

第2、第4 金曜日／午後2時～6時

◆場所

東京ボランティア・市民活動センター  
JR、地下鉄（東西線・有楽町線・南北線・大江戸線一出口B2b）飯田橋駅下車  
セントラルプラザビル 10F ロビー

◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。

ご意見もお待ちしています。

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター  
メールボックス No.4

●TEL：03-3235-1171

(呼出：金曜日活動時間帯のみ)

●FAX：03-3235-0050

●E-mail：webadmin@tnvn.jp

●URL：http://www.tnvn.jp/

●郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

●新会員紹介

正会員

◇南多摩日本語の会（多摩市・日野市）

◇東京YWCA武蔵野センター  
（武蔵野市）

賛助会員

◇株式会社インゲート

●会員数（2008年8月12日現在）

正会員：85団体 協力会員：36名

賛助会員：5団体

●編集／岩佐 幹彦、大木 千冬、

岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利

床呂 英一、林川 玲子、福井 芳野

●レイアウト／鶴田 環恵